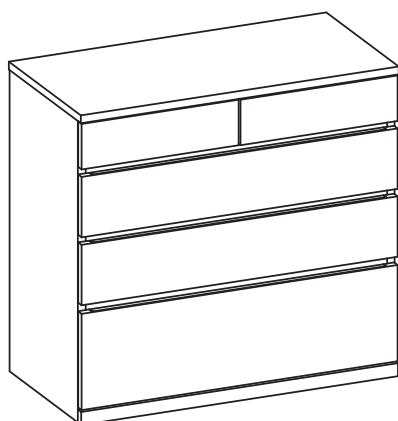


木製チェスト4段



取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ（安全上のご注意）	2～5
パーツリスト	6
各部の名称	6
ご使用方法	7～8
お手入れ方法	8
転倒防止金具の取付方法	9
ご使用に際して	10
製品仕様	11
お問い合わせ先	11

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 危険	使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが切迫して想定される内容です。	 注意	使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。
 警告	使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。		

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

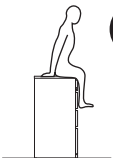
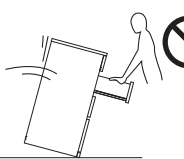
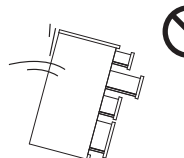
 してはいけない「禁止」の内容です。	 実行しなければならない内容です。
---	--

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。

 危険	
 禁止	●引出しに子供を立たせたり、登らせたり、ぶら下げたりしないでください。製品が転倒し重大な事故につながるおそれがあります。

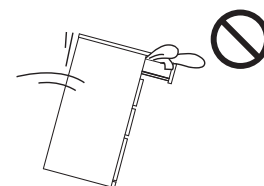
 警告	
 禁止	●お子さまに製品に登る、ぶら下がるなどさせないでください。転倒や破損、ケガをするおそれがあります。 
	●製品の上にのらないでください。バランスをくずして転倒する、製品の破損によりケガをするおそれがあります。 
	●引出しの上に腰掛けたり、ぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。製品の破損や転倒によりケガをするおそれがあります。 
	●引出しが複数ある場合、同時に開けないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。 

⚠ 警告 (つづき)



禁止

- 製品の上にテレビを置かないでください。製品が転倒しやすくなったり、テレビが落下し重大な事故につながるおそれがあります。
- 上部の引出しの上に片寄って収納しないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。



- この製品の上に玩具などお子さまが興味を示すものは置かないでください。お子さまが興味のあるものをチェストの上に置くと、お子さまが取ろうとして製品ごと転倒するおそれがあります。
- 引出しレール部分に手を入れたり、掴んだりしないでください。ケガをする原因となります。
- 引出しを強く引っ張らないでください。破損したり、引出しが抜け落ちたりケガの原因となります。
- ストーブなど引火するおそれのあるものを近くに置かないでください。火災の原因になります。
- 修理や改造はしないでください。製品の強度が弱くなり、ケガをするおそれがあります。
- 製品で電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となります。
- 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
- フィッティングパーツは幼児の手の届くところには置かないでください。また、なくさないでください。これらは小さく、誤飲してしまうと窒息などのおそれがあります。
- 汚れた物や湿った物は収納しないでください。収納物や本体にカビが生じる原因となります。
- 屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こり、ケガをする原因となります。
- 不安定な状態や場所で使用しないでください。転倒によりケガをする原因となるおそれがあります。
- 本体の周辺に転倒しやすい家具やインテリアを置かないでください。転倒し、本体破損やケガの原因となります。
- 本体の側で小さなお子さまを遊ばせないでください。本体が転倒や破損、ケガをするおそれがあります。
- 破損や変形した状態では使用しないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。
- 調理家電（レンジやトースター、炊飯器）などの熱を発する機器は置かないでください。火災の原因となります。

【付属の⑥転倒防止金具について】

- 付属の⑥転倒防止金具を耐震用として利用しないでください。地震などによる振動や、製品に寄り掛かるなど、過度の負荷が掛かった場合、金具がはずれて製品が転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 付属の⑥転倒防止金具や木ネジ（㉔、㉕）は、破損や変形した状態で使用しないでください。強度が弱まり製品が転倒し、ケガをする原因となります。



行う

- 一番重いものは一番下の引き出しに入れてください。製品の安定性が向上し転倒しにくくなります。
- 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用しますと、ケガをするおそれがあります。
- 地震の転倒防止には、市販の地震用の転倒防止金具などをご使用ください。

⚠ 警告 (つづき)

 行う	●電化製品などを収納する場合、電化製品付属の取扱説明書をよく読み、十分に隙間をあけ通気性をよくしてご使用ください。電気製品の故障や火災の原因になります。 【付属の⑥転倒防止金具について】 ●付属の⑥転倒防止金具は、製品を壁に固定するための補助パーツです。必ず取り付け使用してください。子供のよじ登りによる製品の転倒による事故を防ぐことに効果があります。 ●付属の⑥転倒防止金具を壁に固定する際は、壁の状況をお確かめの上で、壁の素材に適したネジ類を使用してください。適していないものでは、強度が得られず、転倒して製品の破損や思わぬケガをする原因となります。(付属の木ネジ(㉔、㉕)は木材用です。壁の材質が木材以外の場合は、用途に応じたビス(市販品)をお買い求めください。) ●製品と壁に固定したネジなどは、根元まで確実に取り付けたことを確認し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの激しい揺れや衝撃が加わった後にも必ず確認してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、製品の⑥転倒防止金具の設置位置を変えて、取り付けてください。
---	---

⚠ 注意

 禁止	●この製品を凹凸のある床や毛足の長いカーペットなど不安定となる場所に設置しないでください。製品が転倒してケガをするおそれがあります。 ●耐荷重を超えて物をのせたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。 ●指定の用途以外で使用しないでください。破損してケガをするおそれがあります。 ●収納部の1箇所に過度の荷重をかけないでください。また、無理に引っ張ったり、進行方向以外に動かしたりしないでください。床にキズがつく原因となります。 ●フェルトを貼った後、凹凸や継ぎ目などの段差のある床面では使用しないでください。フェルトがはがれると、床面を汚したり、キズつけたりする原因となります。 ●天板や棚板の一部に片寄る過度な荷重は加えないでください。変形や破損の原因となります。 ●乳幼児の衣類などは収納しないでください。本体の素材特有の臭いが移り、健康を害するおそれがあります。
 行う	●使い始める時は、室内の換気を十分にしてください。接着剤などに含まれるホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状をおこすおそれがあります。 ●部屋の換気は定期的に行ってください。特に下記の条件ではカビやダニが生じやすく健康を害するおそれがあります。 ・湿度の高い季節 ・冬季など外気が冷たく、室内温度との差により結露が生じる場合 ・過度な加湿器の使用 ●移動させる際は、収納物を取り除き、大人2人以上で移動させてください。1人で無理に移動させると、破損、ケガをするおそれがあります。 ●移動時の引出しはとび出ないようにしっかりと固定してください。引きずったり、天板部分を持ったり、引出しを固定せずに運びますと製品の破損によりケガをする原因となります。 ●壁から少し離して設置してください。空気の滞留や壁側の結露を防ぎ、カビの発生防止になります。また、壁に直接触れないことで、壁紙の変色防止にもなります。

⚠ 注意 (つづき)



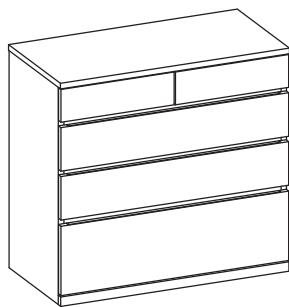
行う

- 小さなお子さまのいるご家庭では角部に市販の保護材を使用してください。転倒などした場合に、ケガを防いでくれます。
- ネジなどの金具類にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損、床面へのキズ防止になります。
- 引出しの取りはずしや取り付けは、中の衣類や収納物を全て出してから行ってください。収納物が入ったまま取りはずそうとすると、破損したり、収納物が落下してケガをするおそれがあります。
- 組み立てや設置の際には指や手をはさまないようにしてください。
- 収納部は湿気がこもりやすく、カビの原因となりうるので、市販の除湿剤(湿気取り用)などを使ったり、定期的な換気も行ってください。湿気は収納物や本体にカビが生じる原因となります。

お願い (その他 注意)

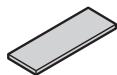
- 初めての使用時は、水で濡らし、固く絞った雑巾でふいてからご使用ください。
- 使用時は、脚底面にフェルトなどの保護材を貼ったり、敷物を敷いたりしてご使用ください。床へのキズ防止、また、クッションフロアーなどの場合は木部の塗料とクッションフロアーの反応による変色を防いでくれます。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品のゆがみ、破損の原因になることがあります。
- 直射日光や冷暖房器具などの熱や風が製品に直接当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因になります。
- 製品に直接熱い物や濡れた物を置かないでください。反りやゆがみ、割れ、変色、カビなどの原因となります。
- 突板や天然木の上にビニール製品(塩化ビニル樹脂など)を直接、長期間置かないでください。変色したり、塗装がはがれる原因となります。
- 鉄でできたものを製品の上に直接置かないでください。製品が濡れていたりすると、鉄成分によって表面が黒く変色するおそれがあります。
- 製品の上で陶器など底のざらついた物を直接置いて引きずらないでください。製品がキズがついたり、凹む原因となります。
- 開封後の梱包材は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。
- 廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。
- シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。
- 直射日光や冷暖房器具などの熱や風が製品に直接当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因になります。
- 暖房器具使用時は、室内温湿度を適正に保ってください。冬場などの暖房器具による室内の極端な乾燥は、天然木材の割れや反りの原因となります。
- 組み立て時は、組み立てに必要なスペースを十分に確保し、敷物を敷いてください。床や既存の家具のキズ防止になります。
- 塗装やプラスチック部にアルコールを含む消毒剤などが垂れた場合にはすぐにふき取ってください。また、過度なアルコール消毒剤でのふき掃除はお避けください。表面が変色や変質することがあります。

①本体 ×1



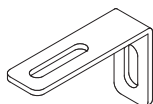
フィッティングパーツ

②フェルト×6(予備×2含む)



※4枚は①本体(底面)に取り付け済です。
※予備用に2枚別に入っています。

③転倒防止金具×2



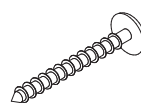
※①本体に取り付け済です。

④木ネジ(短)×2

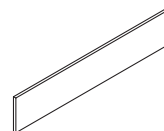


※①本体に取り付け済です。

⑤木ネジ(長)×2

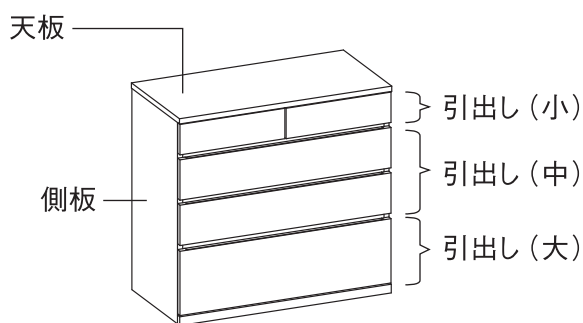


⑥仕切板×4



※引出し(小)の両側に取り付け済です。

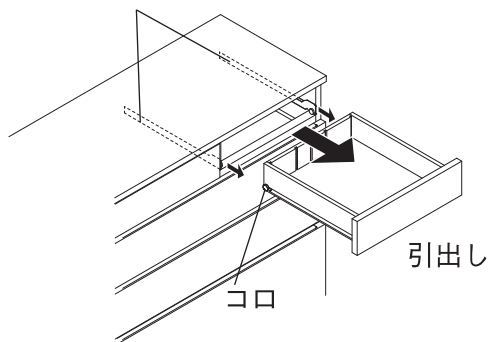
各部の名称



(完成図)

引出し

コロレール



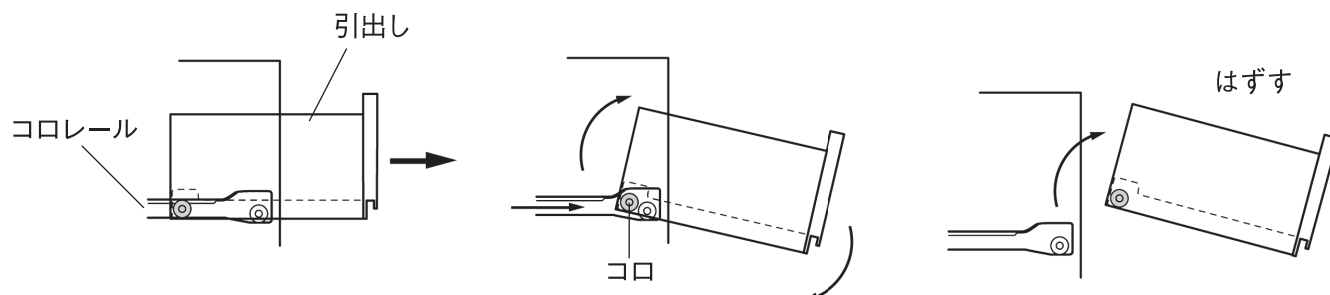
ご使用方法

引出しの着脱方法について

引出し（コロレールタイプ）

●取りはずしかた

本体から引出しを前方に引きながら取りはずします。その際、引出しの底を手で支えながらゆっくり取りはずしてください。



●取り付けかた

引出しについているコロと本体のコロレールを合わせ、水平にして静かに差し込んでください。



注意

- ⊘ 引出しを強く引っ張らないでください。破損したり、引出しが抜け落ちたりケガの原因となります。
- ❗ 引出しの取りはずしや取り付けは、中の衣類や収納物を全て出してから行ってください。収納物が入ったまま取りはずそうとすると、破損したり、収納物が落下してケガをするおそれがあります。

移動について

●移動させる際は、製品を引きずらないでください。製品破損や床面へのキズ、ケガしたりするおそれがあります。



注意

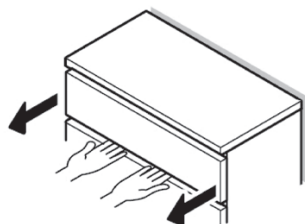
- ❗ 移動させる際は、収納物を取り除き、大人2人以上で移動させてください。1人で無理に移動させると、破損、ケガをするおそれがあります。
- ❗ 同時に引出しと扉が開かないように固定してください。本体が転倒してケガをするおそれがあります。

廃棄について

●廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

引出しの開閉について

●引出しを手前に引く際は、両手を均等に掛けて引き出してください。片手で片寄って行くと、スムーズに引き出せない場合があります。

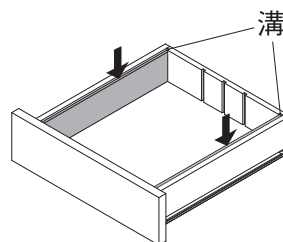
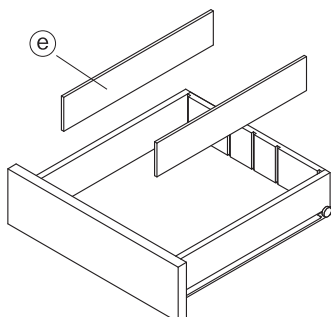


ご使用方法（つづき）

引出し(小) の仕切り板について

●お好みの溝に、㊦を入れてください。

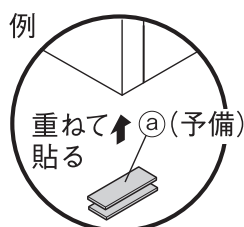
※不要なときは両側の溝に入れてください。



設置について

●設定後のフェルト調整について

設置した時にカタカタする場合は、予備に同梱しました㊦を重ねてA本体（底面）に貼って高さを調整してください。



お手入れ方法

木部のお手入れ

- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 長時間、化学雑巾を接触させたままにしないでください。変色や表面がはがれる原因となります。

金属部のお手入れ

- 毎日のお手入れはやわらかい布で乾きしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 金属部には、防錆潤滑油を薄く塗り、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- 引出しの動きが悪くなったと感じたときは、コロレールに防錆潤滑油を薄く塗ってください。

保守・点検

- 破損や変形した状態では使用しないでください。
- 各部にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損、床面へのキズ防止になります。
- 点検により破損箇所を発見した場合は、直ちに使用を中止してください。そのままご使用を続けた場合、変形、転倒や破損、ケガをするおそれがあります。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

転倒防止金具の取付方法



警告

- ❶ 付属の⑥は必ず取り付けて使用してください。製品の転倒による事故を防ぐことに効果があります。
- ❷ 製品を壁に固定するための補助パーツです。
(※耐震用ではありませんので耐震用の固定用金具は別途準備し、取り付けてください。)
- ❸ 下記の手順に従って製品を壁にしっかりと固定してください。しっかり固定できてないと転倒してケガをするおそれがあります。
- ❹ 作業時には、必要に応じて保護メガネなど保護具を着用してください。思わぬケガをするおそれがあります。

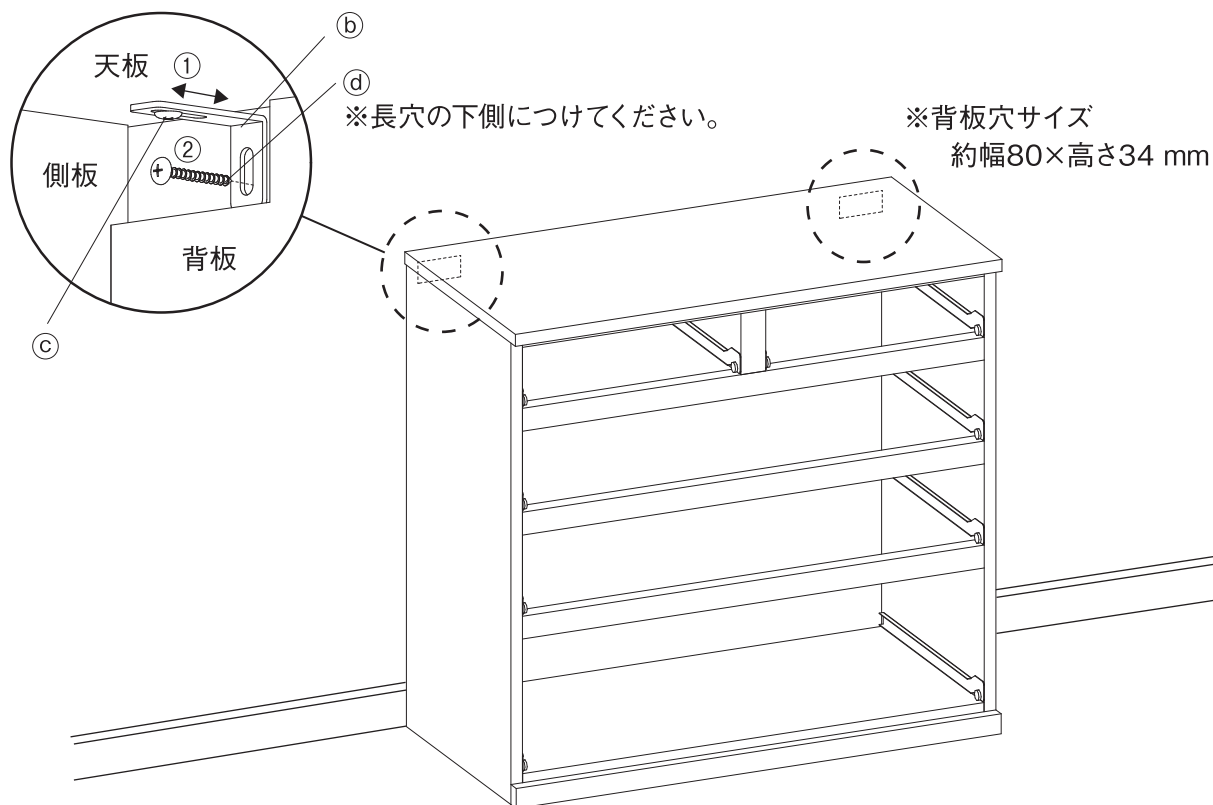
④ 本体を壁面に設置し、「ご使用方法」の引出しの着脱方法について (P7) を参考に引出しを取り出し、柱や壁に固定してください。

① 天板下部付属の③を少しゆるめ、⑥を壁に当たるように調整して再び③を締めて⑥を固定してください。

② ⑥を壁に固定してください。

(柱や壁の下地 (間柱) が木材の場合：付属の④を使用してください。)

(壁の材質が木材以外の場合：壁の素材に適したネジ類 (市販品) をお買い求めください。)



警告



行う

- ❶ 付属の⑥は、製品を壁に固定するための補助パーツです。取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、使用中に製品が転倒しケガをする原因となります。
- ❷ 壁の状態をお確かめの上で、壁の素材に適したネジ類を使用してください。適していないものでは強度が得られず、転倒して製品の破損や思わぬケガをする原因となります。
- ❸ 製品と壁に固定したネジなどは、確実に取り付けたことを点検し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの激しい揺れや衝撃が加わった後にも必ず点検してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、製品の⑥の設置位置を変えて、取り付けてください。同じ場所に取り付けると強度が低下するおそれがあります。
- ❹ 付属の⑥は取り付け方法をよく読み、正しく取り付けてください。誤って取り付けた状態では強度が弱まり、製品が転倒し、ケガをする原因となります。誤った取り付けによって生じた事故や損害については、責任を負えません。

ご使用に際して

天然木について

- 本製品は天然木（突板）を使用しているため、製品ごとに天然木材特有の個体差（木目や色合いなど）がありますが、あらかじめご了承ください。
- 天然木（突板）は下記の条件により、割れや反りなどが発生するおそれがありますので、ご注意ください。
 - ・直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り避けてご使用ください。
 - ・冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限り避け、必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてください。
 - ・特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因となります。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとは
シックハウス症候群の原因物質の一つといわれています。常温で気化する、無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建築資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。

- お部屋の換気について



❗ 家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。
化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。特に複数の家具を同時に設置した場合は、窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の温度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率をあげるため複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をおすすめします。

- 化学物質に敏感な体質のお客さまへ
ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質の許容量には個人差があります。よって、室内濃度指針値（健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値）以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階の無印良品の家具におきましても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく放散されないわけではありませんので、ご注意ください。
アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談されることをおすすめします。

- ホルムアルデヒド吸着・分解シートについて
狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性があります。そこで、お手元に届くまで少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるために、無印良品の家具には、ホルムアルデヒド吸着・分解シートを同梱しています。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着・分解シート」は効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。

製品仕様

品 名	木製チェスト4段 オーク材突板	木製チェスト4段 ウォールナット材突板
J A N	4550512851592	4550512851516
製 品 寸 法	幅880×奥行440×高さ830 mm	
製 品 重 量	約49 kg	
引 出 し 寸 法	(1段目) 幅344×奥行370×高さ80 mm (2～3段目) 幅784×奥行370×高さ120 mm (4段目) 幅784×奥行370×高さ190 mm	
引出し耐荷重	1段目 : 各約4 kg 2～4段目 : 各約7 kg	
用 途	収納家具 (チェスト)	
材 質 (オーク材突板)	天板 : 天然木化粧繊維板(オーク材突板フラッシュ構造) 内側 赤くるみ突板 芯材 パーティクルボード 側板・引出前板 : 天然木化粧繊維板(オーク材突板フラッシュ構造) 内側 プリント紙化粧繊維板 芯材 パーティクルボード 底板 : プリント紙化粧パーティクルボード 引出し内箱 : 桐材 表面加工 : ウレタン樹脂塗装	
材 質 (ウォールナット材突板)	天板 : 天然木化粧繊維板(ウォールナット材突板フラッシュ構造) 内側 赤くるみ突板 芯材 パーティクルボード 側板・引出前板 : 天然木化粧繊維板(ウォールナット材突板フラッシュ構造) 内側 プリント紙化粧繊維板 芯材 パーティクルボード 底板 : プリント紙化粧パーティクルボード 引出し内箱 : 桐材 表面加工 : ウレタン樹脂塗装	
原 産 国	中国	

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

〒170-8424

東京都豊島区東池袋 4-26-3

お客様相談室でんわ



0120-14-6404